

事務事業名	農地災害復旧事業		所属部	建設部	所属課	農地整備課 (災害復興T)	
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	災害復興G		
	施策名	〈34〉農業の振興		担当者名	高木 洋輔		
	目的・対象	市内の農家	意図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。			
	基本事業	〈097〉農業基盤の整備・保全		電話番号	0854-40-1062 (内線) 2474		
目的・対象	担い手農家をはじめとする農家	意図	働きやすい環境で、農業の生産性が維持・向上する。			大事業名	農地災害復旧事業
			予算科目	0:1550:1 0:510	中事業名	01現年農地災害復旧事業 05令和3年過年農地災害復旧事業	

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
被災した農地(田、畑)	被災箇所の復旧を図ることにより、農林水産業の維持を図り、併せてその経営の安定に寄与する。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )	豪雨災害により、畦畔崩壊などの被災を受けた農地(田・畑)を原形復旧するもの。 採択申請要件として24時間雨量80mm以上か時間雨量が大(時間雨量20mm以上)であること、1箇所工事費が40万円以上であること。 暫定補助率:50% R3年度 激甚災害(301箇所):補助率97.3%
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動) R3繰越 2箇所発注→2箇所完了 R4現年 69箇所発注→4箇所完了、65箇所R5へ繰越	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) R3災は非常に甚大な被害であったことに鑑み、特例措置として受益者負担を通常より引き下げている。(通常:4%→R3災:1.35%、担い手に利用権を設定している農地は0%)

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 竣工箇所数(現年災)	箇所	20	0	0	未定
イ 竣工箇所数(過年災)	箇所	1	8	6	155
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)	② コストの推移	単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)	
【R3繰越(R3災)】 委託費:183,643千円、工事費:7,975千円、事務費:3,000千円 計:194,618千円 【R4現年(R3災)】 工事費:27,159千円、事務費:2,020千円 計:29,179千円 【R4現年(R4災)】 委託費:3,567千円 合計:227,364千円 ※地方債:災害復旧債	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円	38,911	11,570	184,806	948,546
		地方債	千円	5,000	800	16,000	24,200
		その他	千円	1,894	1,200	251	14,661
		一般財源	千円	12,435	12,643	26,307	38,209
事業費計		千円	58,240	26,213	227,364	1,025,616	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	被災農地の復旧により、農業経営の維持安定化が図られた。 R3災分については、R5年度以降引き続き早期復旧に努める。
② 事業実施するうえでの課題	R3災は非常に箇所数が多く、農災以外にも治山・林道災、公共災など多様な災害が発生した。復旧には複数年かかる見込みであり、他の災害と調整を取りながら計画的な発注が必要となる。
③ 課題解決に向けた改革改善等	国、県、農家との情報共有を行い、円滑に事業進捗するよう努める。